

令和 2 年 度
ク リ ー ニ ン グ 師 試 験 (筆 記) 問 題

衛 生 法 規 に 関 す る 知 識
公 衆 衛 生 に 関 す る 知 識
洗 濯 物 の 処 理 に 関 す る 知 識

9 : 0 0 ~ 1 0 : 0 0
(6 0 分)

指示があるまで開いてはいけません。

(注 意 事 項)

- 1 解答用紙の右上の記入欄に受験番号を記入してください。
- 2 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 3 解答の誤りを訂正する場合は、消しゴムで消して訂正してください。
- 4 解答は、1つの解答欄に1つだけ記入してください。2つ以上書くとその解答は無効になります。
- 5 試験開始後 30 分を経過するまでは、退室できません。
- 6 退室するときは、解答用紙を裏返して机上に置いてください。
- 7 試験終了後、解答用紙のみを回収します。問題用紙は持ち帰っても構いません。

I 衛生法規に関する知識

問1 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング所の洗場は、床が、不浸透性材料で築造され、これに適当な勾配と排水口が設けられていなければならない。
- (2) 洗濯物の洗濯をするクリーニング所には、業務用の機械として、洗濯機及び脱水機をそれぞれ少なくとも2台は備えなければならない。
- (3) コイン・オペレーション・クリーニング機を設置し、全てセルフサービスにより利用者に機械を利用させることは、クリーニング業法上のクリーニング業に含まれる。
- (4) クリーニング所を開設しないで、車両を用いて洗濯物の受取及び引渡しをすることを営業としようとする者は、都道府県知事に届け出る必要はない。
- (5) 標準営業約款制度の登録店の標識であるSマークのSとは、Standard・Sanitation・Safetyの頭文字をとったものである。

問2 次の文中の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ クリーニング業法は、クリーニング業に対して、（ 1 ）等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もつてその経営を公共の福祉に適合させるとともに、（ 2 ）の利益の擁護を図ることを目的とする。
- ・ クリーニング所を開設しようとする者は、クリーニング所の位置、構造設備及び従事者数並びにクリーニング師の氏名その他必要な事項を（ 3 ）都道府県知事に届け出なければならない。
- ・ クリーニング所においては、（ 4 ）の申出先となるクリーニング所の名称、（ 5 ）及び電話番号を店頭に掲示しておくとともに、洗濯物の受取及び引渡しをしようとする際に、当該掲示事項を記載した書面を配布する。

ア 営業者氏名	イ 所在地	ウ 開設後10日以内に	エ 開設後直ちに
オ あらかじめ	カ 公衆衛生	キ 環境衛生	ク 苦情
ケ クリーニング師	コ 営業者	サ 利用者	

問3 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) クリーニング師とは、厚生労働大臣がクリーニング師試験に合格した者に与える免許を受けた者である。
- (2) クリーニング師であれば、クリーニング所以外でも、営業として洗濯物の処理を行っても良い。
- (3) クリーニング所の営業者は、クリーニング師である必要はない。
- (4) クリーニング所に、伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして指定されている洗濯物が持ち込まれた場合においては、その洗濯物は受け取ってはならない。
- (5) クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、30日以内に、免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にすればよい。

問4 次の文中の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後（ 1 ）以内に（ 2 ）が指定したクリーニング師の資質の向上を図るための研修を受け、その後は、（ 3 ）を超えない期間ごとに研修を受けなければならない。
- ・ 都道府県知事は、クリーニング師がクリーニング業に関し犯罪を犯して（ 4 ）以上の刑に処せられたときは、その免許を（ 5 ）。

ア 6か月	イ 1年	ウ 3年	エ 5年
オ 厚生労働大臣	カ 都道府県知事	キ 市町村長	ク 禁錮
ケ 罰金	コ 取り消さなければならない	サ 取り消すことができる	

Ⅱ 公衆衛生に関する知識

問1 次の文章の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- ・ 日本国憲法第25条第1項では、「すべて国民は、（ 1 ）で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。」と（ 2 ）の保障を規定している。
- ・ （ 3 ）憲章の前文では、「健康」を「肉体的、精神的及び（ 4 ）に完全によい状態であることであり、単に疾病又は虚弱でないということではない。」と定義しており、（ 3 ）の本部は（ 5 ）に置かれている。

ア 自由	イ フランス	ウ 幸福	エ 幸福追求権	オ FAO
カ WHO	キ 経済的	ク 生存権	ケ スイス	コ 衛生的
サ 社会的	シ 自由権	ス WMO	セ オランダ	ソ 健康

問2 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 建築基準法では、安全性の観点から、引火性溶剤を使用するドライクリーニング工場は、住居系用途地域では建築禁止であるが、商業系・工業系用途地域では建築可能である。
- (2) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律では、クリーニング所で使用された石油系溶剤などを含む廃油等の処理に関する業務を適切に行うため、クリーニング所ごとに特別管理産業廃棄物管理責任者を置かなければならないとされている。
- (3) 水質汚濁防止法では、クリーニング所でのテトラクロロエチレンの使用方法について、管理要領を定めて点検を行い、その結果を保守管理点検表に記録し、3年間保存することが義務付けられている。
- (4) 土壌汚染対策法では、テトラクロロエチレン等の特定有害物質を使用していたクリーニング施設を廃止した場合、土地所有者等は、土壌汚染の調査を実施して、その結果を都道府県知事に報告しなければならないとされている。
- (5) ドライクリーニングに使用する石油系溶剤やテトラクロロエチレンは、光化学オキシダントや微小粒子状物質（PM2.5）の原因物質であるVOC（揮発性有機化合物）に該当する。

問3 次の文章の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。ただし、(1)、(2)の解答は順不同です。

- ・ 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の主要な感染経路は、(1)や(2)と考えられており、感染を予防するためには、せっけんを使った手洗いや、密閉空間、密集場所、密接場面のいわゆる「3つの密」を避けることが重要である。
- ・ ノロウイルス感染者の吐ぶつやふん便が布団などのリネン類に付着した場合の処理について、下洗いしたリネン類の消毒は、熱水洗濯が適しているが、熱水洗濯が行える洗濯機がない場合には(3)による消毒が有効である。ただし、(3)は(4)作用があるため、使用する際は注意しなければならない。また、下洗い場所は濃度約(5) ppmの(3)で消毒後、洗剤を使って掃除をする必要がある。

ア エタノール	イ 次亜塩素酸ナトリウム	ウ 血液感染
エ 接触感染	オ 脱水	カ 漂白
ク 80	ケ 200	コ 経皮感染
		キ 飛沫感染
		サ 酢酸イソアミル

問4 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 病原体を物理的又は化学的方法により死滅させ、あるいは感染量に達しない程度まで大幅に減少させることを滅菌という。
- (2) クリーニング施設がかかわる感染症として、病院リネンを介したセレウス菌の集団感染事例がある。
- (3) 厚生労働省の平成30年(2018年)人口動態統計によると、死因順位(男女総数)の第1位は悪性新生物(腫瘍)、第2位は心疾患となっている。
- (4) 「クリーニング所における衛生管理要領」では、指定洗濯物(伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれのあるものとして厚生労働省令で指定する洗濯物)の一般的な消毒方法として、熱湯による消毒は、80℃以上の熱湯に10分間以上浸すことと規定されている。
- (5) 「おしぼりの衛生的処理等に関する指導基準」において、製品として貸与されるおしぼりの衛生基準の1つとして、一般細菌数は、1枚当たり1万個を超えないことが望ましいこととされている。

III 洗濯物の処理に関する知識

問1 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入しなさい。

- (1) 天然繊維として、綿、カシミア及びレーヨン等がある。
- (2) ランドリー工程の「すすぎ」は、繊維、汚れ、糊等を膨潤させ、汚れを取りやすくする効果がある。
- (3) 外衣に付着するススやホコリは、皮脂等の油分により洗濯物に粘着しているが、ドライクリーニングで使用するドライ溶剤は、ススやホコリのみを選択的に除去する。
- (4) ウェットクリーニングの対象となる洗濯物は、JIS L 0001 のウェットクリーニング記号が表示された製品の外、絹といったドライクリーニングが不可能な製品がある。
- (5) クリーニング所における衛生管理要領では、指定洗濯物の消毒効果を有する洗濯方法の一つとして、酸化エチレンに5分間以上浸し洗濯した後、酸化エチレンを含む状態で50℃以上に保たせ、10分間以上乾燥させる工程を含むものが示されている。

問2 次の文中の（ ）にあてはまる最も適当な語句を下の語群から1つ選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) ()は、水にも溶剤にも溶けない不溶性の汚れである。
- (2) ポリウレタンのアイロン仕上げの上限温度は、()℃である。
- (3) クリーニングの「シミ抜き」工程では、鉄サビ汚れを()等を用いて、水溶性の鉄に変化させることで除去する。
- (4) ウェットクリーニングでは、油性汚れはドライクリーニングと比較して5～()%程度しか除去できない。
- (5) 丈夫で耐薬品性に優れ、また難燃性であるが、60℃以上の熱で型崩れを起こすなど耐熱性が低く、タンブル乾燥やアイロンがけを避けた方がよい繊維は、()である。

ア	果汁	イ	ペンキ	ウ	墨汁	エ	110
オ	120	カ	シュウ酸	キ	メタケイ酸ナトリウム	ク	50
ケ	25	コ	ポリ塩化ビニル	サ	綿	シ	キュプラ

問3 次の記述について、()の中から適切な語句を選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) ランドリー工程の「漂白」で用いる漂白剤の中で、繊維を傷めやすいものは、(ア：過酸化水素水 イ：次亜塩素酸ナトリウム ウ：過炭酸ナトリウム)である。
- (2) 洗剤（界面活性剤）の効果の一つとして、(ア：鹸化 イ：乳化)がある。



- (3)  の表示がある衣類はMA値(ア：85 イ：50 ウ：30)以下となる条件で洗濯を行う。
- (4) ランドリー用水に、カルシウム及びマグネシウムの水溶性塩が多く含まれていると、洗剤の洗浄力は(ア：増加する イ：変わらない ウ：低下する)。
- (5) ドライクリーニング溶剤の比重が(ア：大きい イ：小さい)ほど、たたき洗い効果が小さく、衣料を傷めない。

問4 次の記述が説明しているものを下の語群または表示記号から選び、その記号を解答欄に記入しなさい。

- (1) ドライクリーニング溶剤にドライソープを添加して洗う一般的なドライクリーニングの方法を（ ）という。
- (2) 過酸化水素水を用いて（ ）の繊維を漂白した場合は、漂白効果は小さいが、繊維は安全である。
- (3) （ ）を溶剤として用いるときは、引火点が40℃以上のものを用いる。
- (4) 取扱い表示（JIS L 0001:2014）で、洗濯処理後のタンブル乾燥はできるが、排気温度の上限は60℃である表示
- (5) 取扱い表示（JIS L 0001:2014）で、酸素系及び塩素系漂白剤による漂白処理が可能である表示

ア	チャージシステム	イ	ベッドシステム	ウ	アクリル		
エ	ナイロン	オ	プロミックス	カ	テトラクロロエチレン		
キ	石油系溶剤						
ク		ケ		コ		サ	